



防災学習を行いました

11月22日、鶴岡市立あさひ小学校の5年生を対象に防災学習が開催されました。村山先生、砂防ボランティア協会と連携し、土砂災害とその対策や役割等について専門家として説明や解説をしました。

土石流対策



←2、3回土砂を流しても砂防堰堤がくい止めて家を守った!

急傾斜地崩壊(がけ崩れ)対策



←見たことあるかな?

地すべり対策



アンカーで地すべりを止めてみよう

どの避難情報を並べてみよう!いつ避難する?



↓村山先生によるワークショップ



「今日勉強した事を家族に話して、避難するときの約束をしましょう。そして、**率先避難者**になってください。それが周りの人の命を救うことになります。」と生徒の皆さんへメッセージを送られていました。

初めに、土砂災害の「土石流」「地すべり」「がけ崩れ」3つの模型を使い、それぞれの特徴について、どんな場合に発生し、どんな対策をしているのかを実験しました。

土砂災害は雨だけで起こるものではなく、雪解け水や地震が原因にもなります。生徒の皆さんにも模型を触ってもらいながら、対策の効果を知ってもらいました。(休憩時間も各模型に集合して興味津々な様子でした)

次に、ワークショップを開催。大雨や避難情報についてカードを使いながら、班ごとに学習しました。過去の災害の例を聞き、避難のタイミングについて意見を出し合いました。

安全なうちに早めの避難をすることが重要です。
ご家族と今一度確認し合ってみましょう。

- 【参加者】
- ・村山先生
 - ・最上川・赤川水系砂防ボランティア協会
 - ・土砂災害防止広報センター
 - ・新庄河川事務所

赤川砂防管内工事がもうすぐ完了します！



今年度の7つの工事の最終工期が1月末となっています。引き続き工事車両が通行しますので、工事地域にお住まいの皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力の程よろしくお願い致します。



上流の大きな石を砕いて資材として有効活用しています。



雪崩にご注意ください！

本格的な雪のシーズンを前に、皆さんに雪崩災害の防止や被害軽減の重要性を認識し、理解を深めていただけるよう12月1日から7日を「雪崩防災週間」として定めています。

1~2月に多く発生する「表層雪崩」は、気温が低く既に積もった雪の上に多量の降雪があったときに発生します。時速は100km~200kmと新幹線並のスピードになり、破壊力が強く、被害範囲が広がります。

Q. どんな時が危ない？

→急な気温の変化や大量の積雪があったとき。

Q. 危ない場所は？

→植生がまばらで30度以上の斜面が危険です。

クラック

斜面にひっかきキスが付いたような、雪の裂け目



雪(せつ)の庇

山の尾根からの雪のはり出し



雪しわ

ふやけた指先のような、しわ状の雪の模様



スノーボール

斜面をコロコロ落ちてくるボールのような雪のかたまり



←こんな現象を見つけたら雪崩の危険があります。すぐにその場から離れましょう！

伐採木の提供が「終了」しました

赤川砂防管内工事で発生した伐採木の一般提供が終了しましたのでご報告します。

主に薪として利用するというので、慣れた手つきでスムーズに積み込みや運搬をされていました。

山積みだった木は日に日に減っていき、雪が降る前に全て引渡しを終えることが出来ました。

たくさんのお申込み、ありがとうございました！



レド君



積み込みの様子

【あしがき】

今年も「赤川砂防だより」をご覧いただきありがとうございました。今期は暖冬と言われていますが、はたして大寒波は何度やってくるやら…冬は特に時間と心に余裕をもって過ごしたいですね。

写真は10月下旬に撮影した東大鳥川砂防堰堤の紅葉です。次回は雪と砂防堰堤の景色もお届けできればと思います。来年もよろしくお願い致します。

国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所 赤川砂防出張所

〒997-0404 山形県鶴岡市下名川字落合227
TEL: 0235(53)2841 FAX: 0235(53)2807

●HPアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/shinjou/>
●公式X(旧Twitter)もぜひご覧ください。『新庄河川』で検索！
ご覧いただいたご意見、ご感想をお寄せ下さい

QRコードはこちら



まもる君